

# 科学に対する反論は科学の場で

**「研究者が輝く未来」を創ることを理念とする当社は、  
科学の歩みを止める行為、人物に対して、強い意志を持って戦います。**

科学者は、論文の形で自身の意見やデータを発表します。

論文は、査読（peer review）の形で科学者同士が厳しい目でチェックし、議論します。

論文やそれに対する反論は、「科学の場」で行います。科学の場は誰にも開かれたオープンなものです。このような科学界のルールによって、科学の質を担保し、正しい形で科学が発展する仕組みが受け継がれてきました。

しかし昨今、雑誌や Youtube SNS などの「科学の場」でない場所で、自身で確かめることや調査もせず、査読を受けることもなく、一方的に科学技術を否定したり、誹謗中傷する例が後を絶ちません。

- ・論文を読まずに再現性がないなどと一方的に主張する
- ・試行錯誤中のデータの一部を切り取り、失敗したかのような印象を与える伝え方をする
- ・意図的にデータを加工・改ざんする
- ・情報の持ち出しや、漏洩といった犯罪に手を染めたデータを発表する

などが例として挙げられます。

科学に対する反論は科学の場で。

そのルールを破る行為は、科学界に対する冒とくであり、科学の発展を阻害するものです。これでは科学者は研究ができません。

「研究者が輝く未来」を創ることを理念とする当社は、  
科学の歩みを止める行為、人物に対して、強い意志を持って戦います。

株式会社 HIROTSU バイオサイエンス  
代表取締役 広津崇亮